

いよいよ11月。新しい年まで後僅か2ヶ月となり、心なしか慌ただしさを感じる今日この頃。

入園・進級から早や7ヶ月が過ぎ、子どもたちはこれまでの日々の遊びや活動を通して、一人ひとりの個性を發揮しながら各々のペースで成長・発達を遂げています。

保育は自分の思いを子どもに伝えていく営みです。この当り前とも思える子どもとのやり取りが、意外と難しく集団保育の困難さも手伝ってか、保育者の思いだけが先行し子どもの思いが置き去りにされるケースが少なくないように思います。子どもは日々の生活の中で自分の思いや願いを周りの大人から受け止めてもらうことによって、自己を發揮し自己肯定感を育み、自他ともに愛し信頼し、子どものより良い成長に繋がっていくものだと思っています。乳幼児期にどれ程自分の思いや願いを受け止めてもらったかどうかが、後に子どもが大きくなってからの人間関係の中で、少なからず影響を及ぼすのではないかとも言われています。そのようなことから、私たち保育者の役割は極めて重要であると言わざるを得ません。これからも更に一人ひとりの子どもの「思い」や「願い」を集団の中で、しっかりと見据えて保育を進めていきたいと思っています。

さて先月、台風19号等により日本列島の至る所で豪雨災害に見舞われ、とりわけ千葉県や福島県を始めとする、関東地方や東北地方に多数の死傷者が出る等、甚大な被害をもたらしたことは私たちの記憶に新しいところです。亡くなられた方々のご冥福と一日も早い復興・復旧を心から願うばかりです。これから季節の移り変わりを迎え、一段と寒さも厳しさを増す折、子どもたちが風邪やインフルエンザに罹患しないよう手洗いやうがい等、健康面に充分留意していきたいと思っています。これからも元気いっぱい子どもたちが園生活に取り組んでくれることを切に願っています。

園長